

研究主題 新学習指導要領における科目間相互の連携と史・資料や図版等を活用した授業の工夫

I 団体の概要

本研究会は、東京都で歴史教育に携わる学校教職員で組織される。会員相互の歴史教育研究を通じて、生徒並びに社会一般の人々に歴史の見方・考え方を適切に提供し、社会の発展に貢献することを目的としている。主な活動として、大学教授等を招いた講演会、年3回にわたる授業研究会、教科指導法研究会、世界史および日本史の進学指導研究会、年2回にわたる史跡見学などを実施している。また、全国歴史教育研究協議会、関東歴史教育研究協議会などの他の研究会との連携を図りながら、全国の歴史教育に携わる方々と交流を深め、生徒にとってより良い歴史教育を行うことができるように日々研鑽と情報発信を行っている。今後も継続的な研究と交流を通じ、歴史教育の質的向上に寄与することを目指している。

II 講演会

11月に立教大学部教授の加藤喜之氏を講師に迎え、講演会を実施した。加藤氏には自身の著書であり9月に刊行された中央公論社『福音派—終末論に引き裂かれるアメリカ社会』を中心に、宗教学の視点からアメリカの現代政治や社会意識の変容を読み解く手法についてご講演いただいた。特に、福音派の歴史的背景や社会運動との関連を一次史料・統計資料・図版などを交えて分析する姿勢は、歴史総合などにおける資料活用のあり方を再考するうえで大いに示唆を与えるものだった。宗教・政治・経済・社会などを横断する学際的視点が、科目間連携の実践に資する講演会だった。本講演を通じ、宗教を通じたアプローチの深化を図る契機となった。

III 授業研究

年3回、研究会を実施した。対象とした科目は「歴史総合」「世界史探究」「日本史探究」の3科目であり、それぞれの授業において、史資料・図版などの活用方法や、生徒の思考力・判断力・表現力を向上させるための課題設定について検討を行った。特に、歴史総合では「第二次世界大戦の展開」において1人1台端末を活用すること、世界史探究ではゲーミフィケーションを取り入れること、日本史探究では「寛政の改革」における探究課題の設定についてなど、議論が深まった。これらの研究を通じて、科目間の共通性と相違点を確認しつつ、体系的な学びを実践する授業のあり方を共有することができた。

IV 進学指導研究

進学指導研究会では、日本史部会と世界史部会に分かれて活動している。毎年6月頃に発刊される旺文社『全国大学入試問題正解』をメンバーで分担して分析・研究し、高等学校における標準的な学習内容に照らし合わせて適切な出題がなされているかどうかを、高校教員の立場から提言を行っている。8月に「進学指導研究会」という形式で、詳細な活動報告を実施できるよう工夫している。また、大学入試問題の分析を踏まえて、論述指導の仕方など外部講師を招いて講演を行うなど進学指導の在り方について協議を深め、進学指導の充実をはかる取り組みを行っている。

V 教科指導法研修

8月に東京国立博物館において教科指導法研修会を実施した。前半の講義では、同館研究員より博物館が所蔵する文化財の特徴や保存・展示の理念について説明を受けるとともに、デジタルライブラリーをはじめとする同館の各種教育資源の具体的な活用方法が示された。これにより、文化財を教材化する際の視点や、ICTと連動した資料提示の可能性について理解を深めた。後半では、本館および平成館の展示を見学し、大学教授による解説を踏まえつつ、展示資料を授業にどのように位置付け、思考力・判断力・表現力の向上に資するかを検討した。さらに、見学後の協議では、日本史・世界史・歴史総合の枠を越えた資料活用の在り方について意見交換を行い、科目間の連携に資する授業設計の方向性を共有した。本研修を通じて、各教員が授業改善に向けた視点を得るとともに、史資料活用の高度化に向けた共通理解を形成することができた。

VI 史跡見学

11月に「東京の交通100年をめぐる」をテーマとして、近現代の交通史を学ぶ史跡見学を実施した。午前は、東京駅丸の内口「動輪の広場」および井上勝像を見学した後、地下鉄博物館に移動し、銀座線開業時車両などの資料を通じ、地下鉄創設期の歴史的背景について理解を深めた。

午後は、早稲田大学大隈講堂前から都電荒川線の貸切電車に乗り、外部講師による解説を受けながら路面電車史の特色を学んだ。続いて都電おもいで広場にて保存車両を見学し、その後、銀座線乗車および浅草駅周辺、旧万世橋駅遺構の見学を行い、都市交通の変遷を複合的に捉える視点を共有した。

本見学を通じ、参加者は交通史を教材化する際の観点を整理し、授業における史資料活用のさらなる充実に向けた知見を得た。

VII 成果とまとめ

本年度は、研究主題「科目間相互の連携と史資料・図版等の活用」に基づき、講演会、授業研究、進学指導研究、教科指導法研修、史跡見学を通して多面的・多角的な研究を進めた。講演会では、宗教学を中心とする学際的視点から歴史総合など科目間連携の重要性を再確認する機会となった。授業研究では、3科目を対象にICT活用、探究課題の設定など、授業改善に向けた具体的方策について検討した。進学指導研究では、大学入試問題の分析を通して出題傾向と学習内容の関連性を確かめる視点を得た。教科指導法研修と史跡見学では、文化財や交通史関連資料を扱い、史資料の教材化に向けた実践的な方法を共有することができた。これらの取り組みにより、科目間連携の可能性と史資料活用の意義をより明確にし、授業改善に結びつく成果を得ることができた。今後も研究継続と成果の共有を通じ、東京都の歴史教育の質的向上に寄与していく。

<令和7年度連絡先>

団体名		東京都歴史教育研究会
代表者	所属	東京都立向丘高等学校
	職氏名	校長 三藤 政義
	連絡先	03-3811-2022
事務局	所属	東京都立大泉高等学校附属中学校
	職氏名	主任教諭 大野 健人
	連絡先	03-3924-0318
団体ホームページ	URL	二次元コード
	http://torekiken.com/	